

## せんなん子ども会議における「10年後の泉南市の未来新聞」の検討

泉南市子どもの権利に関する条例の第5条で定める「せんなん子ども会議」において、子どもたち（小学4年生～18歳）が10年後の泉南市を想像しながら主体的に話し合い「未来新聞」を作成しました。



### ■実施概要

開催日	内容
令和3年 7月24日	■未来新聞について ・総合計画の説明、10年後の泉南市の検討
9月11日	■「こんな泉南市になってほしいな」 ・テーマ別に意見出し【公園・学校・地域・防災・減災・交通安全など】
10月30日	■新聞イメージの共有 ・新聞の作り方、意見の集約
12月18日	■未来新聞の記事作成
令和4年 1月15日	■未来新聞の記事作成
2月19日	■市長報告の準備
3月12日	■市長報告

### ■「未来新聞」記事の内容

#### 「ぼくたちの学校紹介」

- ・学校行事がたくさんある楽しい学校
- ・元気が一番、楽しく運動しよう
- ・みんなが安心して過ごせる学校にしたい



#### 「チプステ号が私たちのまちにやってくる」

- ・子どもたちが生活している地域の周辺に文房具やお菓子を買っている店が少ないので、移動販売車で各校区に売りに来てもらう。
- ・チプステ号とは、駄菓子のことを英語で「cheap sweets（チープスウィーツ）」、文房具を「stationary（ステーションナリー）」というため、あわせてチプステ号とした。
- ・チプステ号がやってくると、虹の音楽がかかってくるので、車には虹の絵が描かれている。

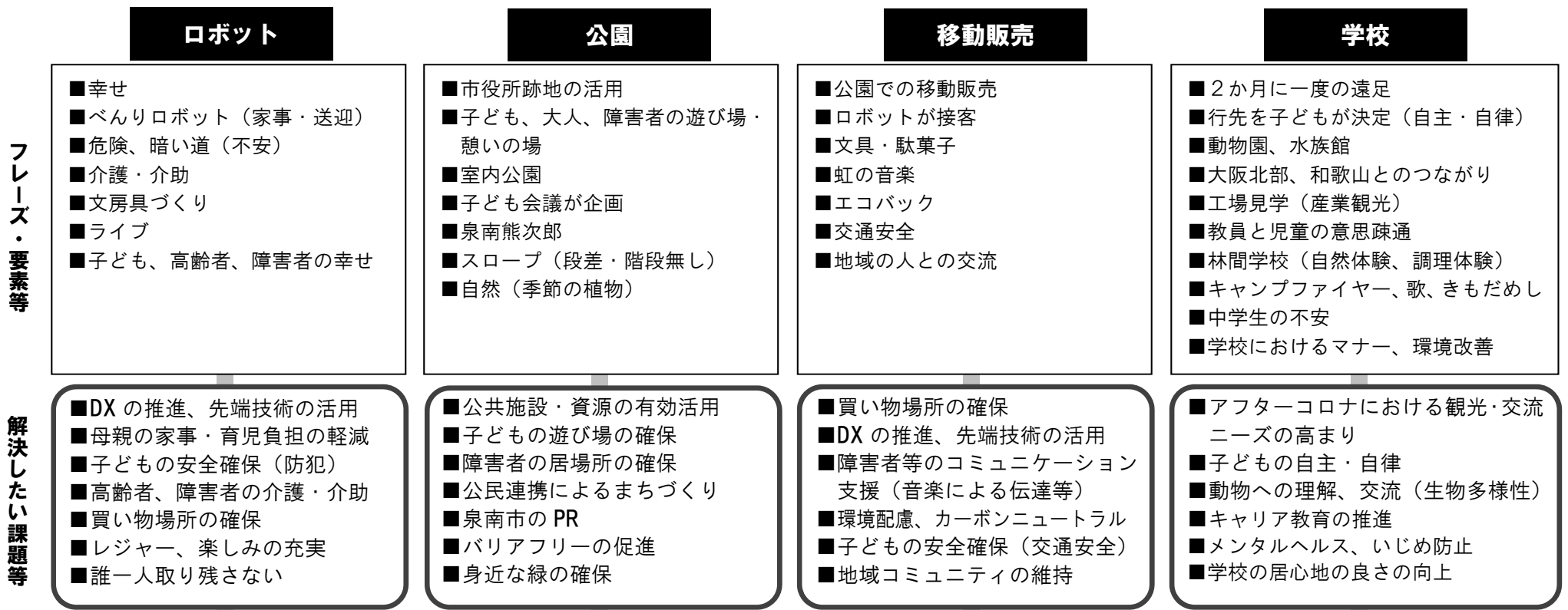
#### 「幸せになるよ 泉南市」

- ・便利ロボット「セカンド・ママ」ができて、家事などをやってくれる
- ・足の裏が掃除機、手のひらでおもちゃの片付け、洗濯物を集めて洗って干すだけでなく、指の先から風が出て乾かす。乾いた服はたたんで片付けてくれる。
- ・習い事の行き帰りは一緒について行って来て危険なことから守ってくれる。
- ・暗い部屋では、電気のスイッチを入れてくれる。

#### 「SENKUMA（せんくま）公園がオープン」

- ・子どもから大人、障害のある人から高齢者まで、みんなが安心して利用できる公園
- ・天気に左右されずに遊ぶことができる室内公園
- ・段差や階段が少なく、スロープを多くしたバリアフリーの公園
- ・こけてもけがをせず安全に遊べるように、地面は柔らかい素材を使っている
- ・点字ブロックや音声でトイレの場所がわかるようにしている

## せんなん子ども会議意見からの主なフレーズ・アイデア



### 子どもたちが描いた泉南市の未来の姿

- 先端技術を活用したロボットなどが生活に浸透し、より便利で快適に、犯罪や交通事故の危険性も少なく安全なまちになっている。
- バリアフリー化や各種支援制度の充実により、子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず誰一人取り残さない社会が実現している。
- 身近な買い物場所（方法）が確保され、多様なレジャーや交流を市内外で楽しむことができるなど、みんなが幸せを感じられるまちとなっている。
- まちづくりには子どもをはじめ市民が関わり、遊び場や憩いの場がデザインされるなど、市民協働・公民連携が進んでいる。
- カーボンニュートラル実現や再生可能エネルギー導入など、環境に配慮した暮らし方が浸透し、身近に緑を感じれ、自然とともに暮らせるまちとなっている。
- 子どもの安全、健やかに育つ環境が確保され、希望する仕事を見つけたり、可能性を高めるサポートが充実し、活躍する人材が育つ環境となっている。
- 子どもと地域のつながり、人と人との交流など、ぬくもりある人間関係が構築された地域コミュニティが形成されている。